

## 池ノ入池（石川）ハザードマップ<sup>○</sup>

0 50 100 150 200 m 縮尺 1:2,500



## 地震災が起こった際

池ノ入池（石川）ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さや、いざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

よく目にすることに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

5-5943295-1

An aerial map showing a green landscape with a winding river and several buildings. A white box highlights the 'Nogizawa Elementary School Gymnasium' (野木沢小学校体育館) and '避難所' (Evacuation Center). Another white box highlights the 'Ono Pond (Ono-ko)' (池ノ入池 (石川)).

An aerial photograph showing a river flowing through a valley. The river is dark blue, and the surrounding land is a mix of green fields and dense forest. A small town or cluster of buildings is visible near the river's edge. A red line, likely a survey marker, runs diagonally across the top left corner of the image.

An aerial photograph showing a river flowing through a landscape of green fields and trees. A yellow arrow points downstream along the river's edge. The text "5分後" (5 minutes later) is overlaid in yellow in the center of the image.

An aerial photograph of a rural area. On the left, there are several small buildings with red roofs, likely a town or village. To the right of the buildings is a winding river or stream. The surrounding land is divided into various agricultural fields, some with distinct patterns from others. A road or path runs along the edge of the fields. The terrain appears to be a mix of flat land and slight elevation changes.

This aerial photograph shows a river flowing through a green landscape. Labels indicate '広畠' (Watanabe) on the left, '30分後' (30 minutes later) in the center, and '石川町役場' (Ishikawa Town Hall) on the right. A red arrow points downwards from the town hall label.

An aerial photograph of a reservoir area. A dam is visible on the left, with a road leading up to it. The reservoir itself is a large, light blue body of water. To the right, there is a mix of green fields and some buildings, likely a management facility. A yellow arrow points from the text "40分後" to the reservoir area.

Aerial photograph showing agricultural fields and buildings. A red arrow points to a specific area near a building with a red roof.

# 池ノ入池(石川)ハザードマップの見方・使い方

## ■ハザードマップ作成の目的

池ノ入池(石川)ハザードマップは、地震でため池が決壊した場合、最大での程度の浸水範囲となるかを知るために浸水予測を行いました。住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的にしています。

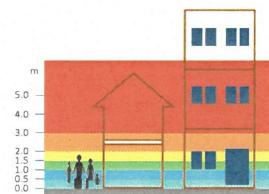
## ■ハザードマップの作成条件

現在起こりうる最大の危機を想定しました。寺前池が満水の状態で、貯水量の全量0.9千トンが下流域に流れ出す場合を想定しました。

## ■ハザードマップに載せる情報

### ①場所ごとの浸水する深さ

場所ごとの浸水する深さを色分けして  
地図上に表示しました。



### ②到達時間

ため池の水が到達するまでの時間を表示  
しました。

### ③避難場所

避難する場所を地図上に表示しました。  
なお、一刻も早い避難が必要な事態にな  
ったときは、指定された避難場所に  
ようず、近くの高台へ避難してください。



## いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水がはじまる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難 : 速やかに高台へ
- ・ため池直下 (0.5m~2.0mの水深予想) : 建物の2階などに移動し、
- ・ため池直下以外 (0.5m~1.5mの水深予想) 水が引いたら避難所へ避難

## 地図を見るうえでのポイント

- ・地図の凡例を参考に、どこにどのような浸水が想定されているか確認しま  
しょう（浸水想定区域では、水だけでなく、土砂や流木、地図上にある様  
々なものが押し流されてくる可能性があります。）
- ・災害の状況によっては、避難所へ向かうことが危険な場合があるので注意  
しましょう。
- ・災害シナリオを参考に、災害の発生から避難完了までを考えてみましょう。
- ・地図を片手に自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、災害時に危  
険そうな箇所（地震時に崩れそうなブロック塀、大雨時に溺れそうな深み  
のあるところ）や、逃げ込める高台などをあらかじめ確認しておきましょ  
う。

## 地震のあとの災害シナリオ

時 間	発生前	数秒～1分	1～3分後	5～10分後	約30分後～50分	落ち着くまで	
地震情報 (TV・ラジオ)	緊急地震速報	発生	地震速報	被害の情報収集			
	(数秒前)		防災無線				
○決壊しない場合						緊急放流で水位低下・点検	
※地震直後に決壊しなくとも、数日後に決壊することがあるため、監視を継続							
行動の目安	少しでも安全な場所へ移る	いのちを守る	家族を守る 揺れがおさまったら、高台や 安全なところへ避難	安全な場所へ避 難	避難所などで待 機し、町の指示 を待つ		